

『Mind Charging』

第 75 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 7 月 9 日

マーティン・ルーサー・キング・ジュニアの名言



A lie cannot live.

嘘は、生き続けることなどできない。

さすがは牧師ですね。『神様は見ていますよ』というメッセージも含めて伝わってきます。当然ながら、私たちは幼い頃から嘘をつくことはいけないことと教わってきましたし、十分に理解しています。その一方で、大小に関わらず嘘を一度もつくことなく生涯を終えられる人もいないかもしれません。

嘘をつく、罪悪感と共に“嘘をつき続けなければいけない”というプレッシャーが襲ってきます。そこから逃れるために、『あの時は仕方がなかったんだ』と自分に言い聞かせながら、嘘の“上塗り”をしてしまうという『負の連鎖』を生むことも少なくありません。そう考えると、嘘は『自分の中で罪悪感となって生き続けてしまう』ということになりますね。

みなさんには家族や仲間など、大切に思う人たちが大勢いると思います。そんな人たちとの関係や、そんな人たちからの評価などを高めたくて自分を大きく見せるための嘘をつくこともあると思います。誰でも高評価を得たいという願望はあって当たり前です。しかし、それで成立している人間関係は本物と呼べるでしょうか。自分が大切に思っている人に対して嘘をつくことは本当にその人を大切にしているとは言えないと思います。きっと自分が大切に思っている人は、自分のことも大切に思っていてくれています。その人が嘘に気づいた時のショックを考えると、改めて嘘はいけないと痛感します。

この言葉からわかることは、『嘘はいずれバレる』ということです。私は、時々『自分を守ることがプライド』になってしまっていないか』と、振り返ってチェックするようにしています。誠実さは性格ではなく、自らを磨いて創り上げるものです。人を信じられるようになるために、人に信じられる生き方をしていきたいものですね。(編集委員：入試広報室 鈴木)

マーティン・ルーサー・キング・ジュニア(英語: Martin Luther King, Jr., 1929 年 1 月 15 日 - 1968 年 4 月 4 日)は、アメリカ合衆国のプロテスタントバプテスト派の牧師である。キング牧師(キングぼくし)の名で知られ、アフリカ系アメリカ人公民権運動の指導者として活動した。「I Have a Dream」(私には夢がある)で知られる有名な演説を行った人物。1964 年のノーベル平和賞受賞者。本人死後、2004 年の議会名誉黄金勲章受章者。アメリカの人種差別(特にアフリカ系アメリカ人に対する差別)の歴史を語る上で重要な人物の一人である。(Wikipedia 参照)